

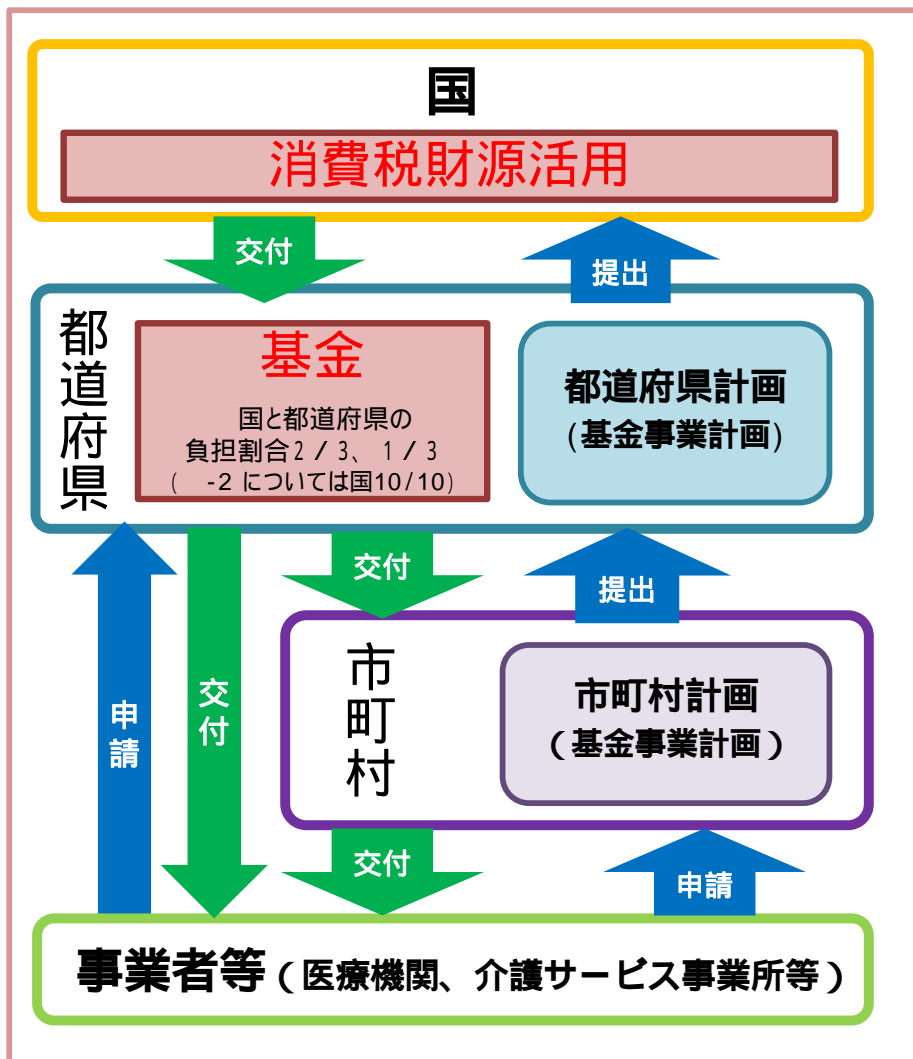
# 地域医療介護総合確保基金に関する 令和6年度都道府県計画(案)及び 令和4年度都道府県計画の事後評価について

# 地域医療介護総合確保基金

令和6年度予算案:公費で1,553億円  
(医療分 1,029億円、介護分 524億円)

団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望すれば、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題。

このため、平成26年度から消費税増収分等を活用した財政支援制度(地域医療介護総合確保基金)を創設し、各都道府県に設置。各都道府県は、都道府県計画を作成し、当該計画に基づき事業を実施。



## 都道府県計画及び市町村計画 (基金事業計画)

### 基金に関する基本的事項

- ・公正かつ透明なプロセスの確保 (関係者の意見を反映させる仕組みの整備)
- ・事業主体間の公平性など公正性・透明性の確保
- ・診療報酬・介護報酬等との役割分担

### 都道府県計画及び市町村計画の基本的な記載事項

医療介護総合確保区域の設定 1 / 目標と計画期間(原則1年間) / 事業の内容、費用の額等 / 事業の評価方法 2

- 1 都道府県は、二次医療圏及び老人福祉圏域を念頭に置きつつ、地域の実情を踏まえて設定。市町村は、日常生活圏域を念頭に設定。
- 2 都道府県は、市町村の協力を得つつ、事業の事後評価等を実施  
国は都道府県の事業を検証し、基金の配分等に活用

都道府県は市町村計画の事業をとりまとめて、都道府県計画を作成

## 地域医療介護総合確保基金の対象事業

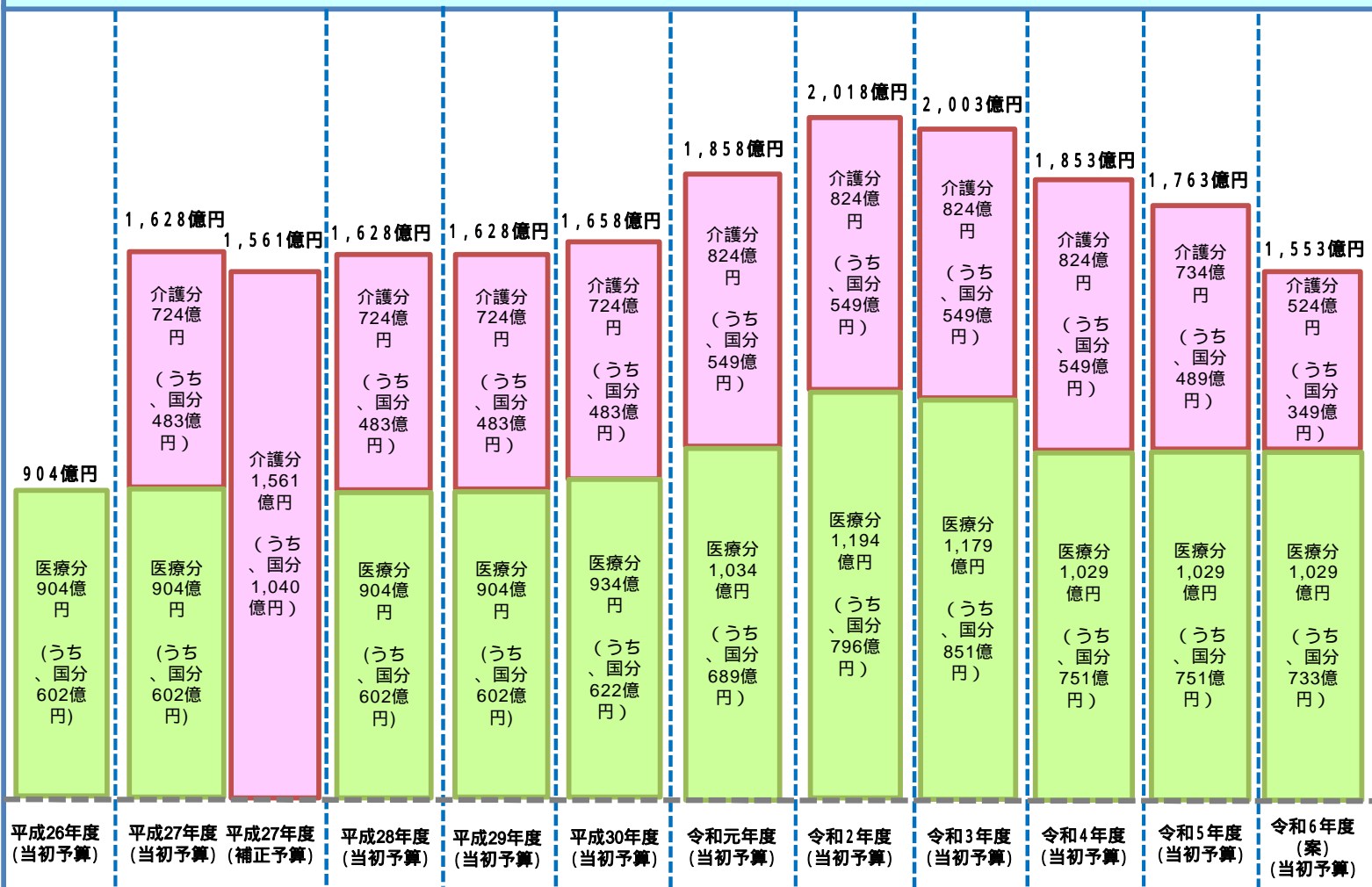
- 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
  - 2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業
- 居宅等における医療の提供に関する事業
- 介護施設等の整備に関する事業(地域密着型サービス等)
- 医療従事者の確保に関する事業
- 介護従事者の確保に関する事業
- 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

# 地域医療介護総合確保基金の令和6年度予算案について

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するため平成26年度から消費税増収分等を活用した財政支援制度(地域医療介護総合確保基金)を創設し、各都道府県に設置。

地域医療介護総合確保基金の令和6年度予算案は、公費ベースで1,553億円(医療分1,029億円(うち、国分733億円)、介護分524億円(うち、国分349億円))を計上。

## 地域医療介護総合確保基金の予算額



## 地域医療介護総合確保基金の対象事業

- 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
- 2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業
- 居宅等における医療の提供に関する事業
- 介護施設等の整備に関する事業 (地域密着型サービス等)
- 医療従事者の確保に関する事業
- 介護従事者の確保に関する事業
- 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

## 基金の対象事業変遷

平成26年度に医療を対象として - 1、 で創設  
 平成27年度より介護を対象として、 が追加  
 令和2年度より医療を対象として が追加  
 令和3年度より医療を対象として - 2が追加

# 地域医療介護総合確保基金の本県の積立・執行の状況

## 1. 積立の状況(H26～R5)

(千円)

計画年度	I-1病床機能分化	I-2病床機能分化	II在宅医療推進	IV医療従事者確保	VI勤務医働き方改革	合計
H26	415,981		232,241	392,188		1,040,410
H27	513,580		36,701	567,347		1,117,628
H28	740,294		11,310	599,375		1,350,979
H29	766,509		28,716	602,024		1,397,249
H30	404,080		22,536	657,472		1,084,088
R1	14,966		11,016	592,155		618,137
R2	0		803	422,249	0	423,052
R3	34,786	52,668	4,454	347,747	36,110	475,765
R4	0	52,668	36,349	549,282	14,829	653,128
R5(見込み)	0	0	45,549	594,073	30,000	669,622
合計	2,890,196	105,336	429,675	5,323,912	80,939	8,830,058

## 2. 執行(取崩)状況及び基金残高(H26～R5)

(千円)

執行年度	I-1病床機能分化	I-2病床機能分化	II在宅医療推進	IV医療従事者確保	VI勤務医働き方改革	合計
H26～R3	1,204,920	52,668	332,279	4,172,379	36,109	5,798,354
R4	83,888	0	36,395	548,227	14,829	683,339
R5執行見込	128,260	0	46,009	603,014	30,000	807,283
R5残額見込	1,473,128	52,668	14,992	292	1	1,541,082

## 3. 令和6年度活用予定額

(千円)

計画年度	I-1病床機能分化	I-2病床機能分化	II在宅医療推進	IV医療従事者確保	VI勤務医働き方改革	合計
R6	221,579	52,668	49,007	671,876	144,295	1,139,425

# 令和6年度都道府県計画 (案)

## 地域医療介護総合確保基金（医療分） 令和6年度活用予定事業

### 区分Ⅰ－1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

（単位：千円）

事業名	県事業名	事業内容	R6基金充当見込
地域医療構想実現に向けた医療機能強化推進事業	「面倒見のいい病院」機能向上事業	・医療機能の「見える化」指標の更新、病院間での指標結果の共有 ・優良事例の共有（シンポジウムの開催・事例ペーパーの発行） ・県民向けPR ・機能強化を発揮するために必要な設備整備に対し補助	71,207
医療機能分化・連携促進事業	医療機能分化・連携促進事業	・医療機関の機能分化・連携により、効率的かつ効果的な医療提供体制の構築を図るため、病床機能の集約化・再編や他分野への転換に要する費用に対し、補助金を交付することにより支援等を行う。 ・機能再編・連携強化に取り組む病院へのコンサルティング支援を実施。	62,009
病床の機能分化・連携推進検証手法検討事業	病床機能分化・連携情報分析推進事業	地域医療構想実現に向けレセプトデータによる患者の受療や疾病の動向等を分析	9,889
二次・三次医療機関情報共有システム導入支援事業	二次・三次医療機関間情報共有システム導入支援事業	ICTを活用し医療機関相互のネットワークの構築を図り、通常診療から救急医療に至るまで一連のサービスを滞りなく提供するための参加医療機関のシステム整備を行う。	38,874
がん患者に対する口腔ケア対策支援事業	がん患者に対する口腔ケア対策支援事業	医科歯科連携によるがん患者の口腔ケア対策を推進 歯科医師へのがん患者の口腔機能管理等に関する研修会の実施 がん診療連携拠点病院等での医科歯科連携研修会の実施 がん患者の口腔ケアに関する県民向け講習会の実施	1,600
がん医療機能分化推進事業	がん医療機能分化推進事業	県内のがん治療水準向上のため、県立医科大学附属病院が行うがんゲノム医療の提供に向けた取組を支援	38,000
小 計			221,579

### 区分Ⅰ－2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業

（単位：千円）

事業名	県事業名	事業内容	R6基金充当見込
単独支援給付金支給事業	病床機能再編支援事業	医療機関が、地域の関係者間の合意の上、奈良県地域医療構想に即した病床機能再編の実施に伴い、減少する病床に応じた給付金を支給する。	52,668
小 計			52,668

### 区分Ⅱ 居宅等における医療の提供に関する事業

（単位：千円）

事業名	県事業名	事業内容	R6基金充当見込
在宅医療推進事業	在宅医療推進事業 地域連携バス推進事業	・在宅医療の全県的な展開に向けて、県医師会における在宅医療への参加促進などの取組に対し補助 ・多職種による県内在宅医療提供体制を充実させるための協議会を運営 ・保健所を中心として、複数市町村にまたがる医療介護連携のルールづくり等の在宅医療モデルを推進	13,174
在宅歯科医療連携室運営事業	在宅歯科医療連携室運営事業	在宅歯科医療における医科や介護等他分野との連携を図るため、在宅歯科医療連携室を運営	3,800
訪問看護推進事業	訪問看護推進事業	訪問看護を担う人材の育成・確保及び看護の資質向上を図るための研修を実施	1,434
がん在宅医療情報管理事業	ならのがん登録推進事業	全国がん登録及び地域がん登録データベースシステムによる登録の実施	9,707
奈良県心身障害者歯科衛生診療所設備整備事業	心身障害者歯科衛生診療所設備整備事業	心身障害者・児の治療サービスの向上を図るための歯科診療器等の更新	6,200
重症心身障害児等地域生活支援事業	重度心身障害児への在宅医療支援制度 医療的ケア児等実態調査事業	・医療的ケア児等に対する支援の推進を図るための重症心身障害児者支援センターの運営 ・医療的ケア児等に対する支援の推進を図るための県内医療的ケア児等実態調査の実施	14,692
小 計			49,007



区分Ⅳ 医療従事者の確保に関する事業

(単位：千円)

事業名	県事業名	事業内容	R6基金充当見込
産科医療体制支援事業	産科医療体制支援事業	・産科医の待遇改善を図る医療機関に対し補助 ・新生児科医の処遇改善を図る医療機関に対し補助	17,065
救急電話相談事業	救急電話相談事業	急な病気や怪我等について、適切な処置方法や医療機関受診の要否についての電話相談窓口の運営	49,403
小児救急医療輪番体制整備事業	小児救急医療輪番体制整備事業	・小児輪番体制参加病院運営費補助金 ・小児病院輪番体制参加病院連絡会の開催	52,677
小児救急医療支援事業	小児救急医療支援事業	・中南和の小児初期救急の拠点的役割を果たす橿原市休日夜間応急診療所の運営費に対し補助 ・適正な受診誘導を行うための啓発チラシの作成・配布 ・保護者等からの休日及び深夜帯を含む夜間の電話相談窓口（＃8000）の運営	49,785
災害急性期医療体制構築事業	災害急性期医療体制構築事業	災害発生直後の連絡体制等構築のための災害急性期医療体制等連絡会及び研修・訓練等を実施	3,661
救急搬送・受入実施基準実施事業	救急搬送・受入実施基準実施事業	救急患者を速やかに適切な医療機関へ搬送するため、e-MATCHから得られるデータを収集・分析し、受入実施基準に反映	500
糖尿病医療連携支援事業	糖尿病医療連携ネットワーク推進事業	・奈良県糖尿病診療ネットワーク専門医協議会の開催 ・奈良県糖尿病診療ネットワークのリーフレット作成、広報活動 ・研修会の開催	428
入院患者食材料費関係支援事業	医療機関物価高騰対策支援事業	・食料品価格の高騰の影響を受けた医療機関に対し助成	52,200
医師確保修学資金貸付金	医師確保修学資金貸付金	①緊急医師確保修学資金貸付金 県立医科大学及び近畿大学の緊急医師確保特別枠の学生を対象に修学資金の貸付を実施 ②医師確保修学資金貸付金 医師の確保が困難な診療科等での勤務を希望する県内外の医学生を対象に修学資金の貸付を実施	190,176
医師配置システムの運営	医師配置システムの運営	①地域医療学講座運営費補助金 地域医療を担う医師の支援策の検討等を行う県立医科大学の地域医療学講座の運営費に対し補助 ②県費奨学生配置センター事業 医師確保修学資金の貸与を受けた医師に対する継続的なキャリア形成支援と医療機関への適切な配置を実施	33,318
医師確保推進事業・へき地医療従事者確保支援事業	医師確保推進事業 へき地医療従事者確保支援事業	①ドクターバンク運営事業 奈良県での就労を希望する医師のための相談窓口の設置、県の医療機関への紹介を実施 ②地域医療マインド普及事業 医学生・研修医に対し、県の医療や臨床研修病院・専門研修施設に関する情報提供を実施 ③若手医師県内就職推進事業 奈良県と各臨床研修病院が、協同して合同説明会の開催や就職フェアへの出展等を実施 ④専攻医・県内確保定着促進事業 奈良県と各専門研修施設が、協同して合同説明会の開催や就職フェアへの出展等を実施 ⑤へき地勤務医療従事者確保推進事業 医学生・看護学生を対象にへき地診療所での体験実習を実施	8,657
看護師職場環境改善事業	看護師職場環境改善事業	将来にわたる安定した質の高い看護の提供に向けた看護職員確保策等を検討するため、関係機関による会議を開催	780
看護師等養成所運営費補助事業	看護師等養成所運営費補助事業	県内で就業する質の高い看護職員の増加を図るため、県内看護師等養成所の運営に必要な費用に対して補助を実施	94,551
病院内保育所運営費補助事業	病院内保育所運営費補助事業	医療従事者が働きやすい環境整備を推進し、離職防止及び再就業促進を図るため、院内保育施設運営費に対し補助	58,027
ナースセンター機能強化事業	ナースセンター機能強化事業	ナースセンターの運営体制を強化し、看護職員の就業を支援 看護師等免許保持者の届出制度の運営・就業相談やハローワークとの連携等	8,800
看護職員資質向上推進事業	看護職員資質向上推進事業	・看護職員の資質向上のため、実習指導者や看護教員に対する研修を実施 ・在宅医療分野の認定看護師教育課程等や県立医大が実施する特定行為研修の受講を支援する病院等に対し補助	12,091
新人看護職員卒後研修事業	新人看護職員卒後研修事業	・新人看護職員を対象とした卒後臨床研修を実施する病院への補助 ・病院での円滑な研修実施体制の確保のため教育責任者等を対象とした研修等を実施	10,589
医療従事者の働き方改革推進事業	医療勤務環境改善支援センター事業	医療勤務環境改善支援センターを設置し、医療機関における勤務環境改善の取組を支援	2,480
地域包括ケアシステム等を支える医師確保事業	地域包括ケアシステム等を支える医師確保事業	総合診療専門医の養成プログラムのプロモーションや専攻医・指導医に対する研修会等を実施	1,100
地域医療対策協議会運営事業	地域医療対策協議会運営事業	医療従事者の確保・養成に関する事項について、地域医療関係者との総合的な協議を実施	338
糖尿病歯周病医科歯科連携推進事業	歯科口腔保健推進事業	歯周病と糖尿病に関して歯科と医科の連携を推進するため、先進事例の情報収集及び検討を実施	500
医師患者関係講座運営事業	医師患者関係講座運営事業	奈良県立医科大学において、「医師・患者関係学講座」を設置し、高度医療・急性期医療・慢性疾患における医師・患者関係を理解するための教育を実施	24,750
小 計			671,876

区分Ⅵ 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

(単位：千円)

事業名	県事業名	事業内容	R6基金充当見込
地域医療勤務環境改善体制整備事業	地域医療勤務環境改善体制整備事業 勤務環境改善医師派遣等推進事業	・時間外労働時間が年間960時間超等の医師がいる医療機関が行う非常勤医療専門職員の雇用等及び勤怠管理システムの整備等に対し補助 ・時間外労働時間が年間960時間超等の医師がいる医療機関へ医師派遣を行う医療機関の派遣実施に要する経費に対し補助	144,295
合 計			1,139,425

# 令和4年度都道府県計画の事後評価



【医療介護総合確保促進法に基づく奈良県計画における令和4年度実施事業の事後評価について】

事業区分	事業名	事業概要	計画に掲げる目標	令和4年度実施状況	事業の効果	令和4年度事業費(円)	令和4年度基金充当額(円)	計画年
1-1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	がん患者に対する口腔ケア対策支援事業	県内のがん診療連携拠点病院等と連携・協力して、がん患者の口腔管理、口腔管理に関わる人材の育成や地域毎のネットワークづくりの体制を整備する。また、全身と口腔機能の向上を図るため、病棟・外来に歯科衛生士を配置又は派遣し、患者の口腔管理等を行う。	・がん医科歯科連携講習会修了書授与数 400人 ・歯科衛生士派遣病院数 10病院 ・病診連携数 10病院 ・患者満足度の上昇	○歯科医師等を対象にした研修会の実施 ・がん医科歯科連携講習会修了書授与数：H26～R4：685人 ○がん診療連携登録歯科医：138人（20.5%）の派遣 ・歯科医師、歯科衛生士派遣病院数：H26～R4年：10病院、延12病院 ○病診連携数 ・連携病院数：12病院 ・連携歯科医療機関数：40機関 ・病診連携数：123件	がん治療前後の口腔機能管理の効果として、在院日数の短縮や口から栄養を取ることができ、患者のQOLの向上が期待できる。	994,330	994,330	H26
	病床の機能分化・連携推進検証手法検討事業	病床機能の分化・連携を進めるにあたり、県内の医療機関の現状を把握した上で、今後算定される将来の病床数の必要量が、地域の実情に適合しているかを検証する手法を検討する。	地域の医療機関の現状把握、今後の将来の病床数の必要量とマッチングをする手法の確立	医療と介護を一体的に把握できる国保及び後期高齢者のデータを用いて、地域ごとにどのような検証手法が有効かについて、評価分析を進めることができた。	本事業の実施により、各地域の医療と介護の実態把握につながる。	7,956,250	7,956,250	H26
	医療機能・分化連携施設設備整備事業	医療機関の機能分化・連携により、効率的かつ効果的な医療提供体制の構築を図るため、施設・設備の整備に対して支援を行う。（回復期病床への転換等）	・急性期病床から回復期病床に転換する病床28床 ・認定指標の改善（脳卒中等）	・転換にかかる補助金は、公募したものの補助実績なし。 ・各病院の医療提供状況等の分析等を実施。	分析を病院に提示するとともに病院の自主的な取組を支援し、分化・連携を促進した。	18,322,259	18,322,259	H28
	病床機能分化・連携施設設備整備事業	奈良県立医科大学附属病院のER型救急医療体制の強化に係る設備の整備を実施。	地域において明らかに不足している病床の機能への転換に資する事業等のうち、病床の機能の連携に特に資する事業として実施するものであり、ER型救急医療体制を強化することにより、他の医療機関の回復期への病床転換を誘導するものであり、地域医療構想の達成に向けた病床の機能の連携に資することを目的とする。	奈良県立医科大学附属病院のER型救急医療体制の強化に係る設備の整備を実施した。	ER型の救急医療体制が強化されることで、他の医療機関の回復期への病床転換を誘導し、病床機能の連携に資する。	7,016,389	7,016,389	H28
	地域医療構想実現に向けた医療機能強化推進事業	・医療機能の「見える化」指標の作成 ・各病院から「見える化」指標の収集 ・病院間での指標結果の共有、県民等への公開 ・医療機能の「見える化」による各医療機関の機能分化、機能発揮、連携強化	・「見える化」指標を策定する ・指標結果を病院間で共有する ・指標結果をわかりやすく県民に公開する	県内全病院の「面倒見のいい病院」機能を「見える化」するために、県内医療・介護関係者や有識者で構成する指標検討会を2回、自主的に自院にあった取組を取り入れてもらうため優良先進事例等を共有するシンポジウムを1回開催した。	県が各病院の有する機能を同一の指標で「見える化」することで、各病院が自らの担う医療機能を明確化し、その担う役割の方向性に沿った医療機能の発揮と連携の強化が可能となる。	11,937,402	11,937,402	H30
	がん医療機能分化推進事業	がん薬物療法専門医の育成及びがん治療水準の向上を図ることにより、県民が安心できる医療体制を構築することを目的に、公立大学法人奈良県立医科大学に対し、腫瘍内科学講座の運営に要する経費について、予算の範囲内において補助金を交付するもの	県内がん薬物療法専門医数 R1：5人 → R6：12人 県内がんゲノム医療拠点病院の指定 現在：0医療機関 → R6：1医療機関 県内がんゲノム医療連携病院の指定 現在：4医療機関 → R6：5医療機関	県内がん薬物療法専門医数：12人 県内がんゲノム医療拠点病院の指定：1医療機関 県内がんゲノム医療連携病院の指定：4医療機関	がん薬物療法専門医を育成、県内がん診療連携拠点病院へ配置し、専門医の空白地域を解消することで、県内のがんゲノム医療、薬物療法に係る医療施設間の機能分化及びネットワーク化を図る。また検査から治療まで自施設で完結できるがんゲノム医療拠点病院の指定に向け、がんゲノム医療を適切に受けられる体制を整えることで、県内のがん治療水準が向上し、年齢調整死亡率の低下が見込まれる。	37,661,206	37,661,206	H30
1-2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業	単独支援給付金支給事業	医療機関が、地域の関係者間の合意の上、奈良県地域医療構想に即した病床機能再編の実施に伴い、減少する病床に応じた給付金を支給	対象となる医療機関数 1医療機関	令和4年度においては当該給付金の申請はなかった。	地域医療構想の実現に向け、過剰な病床の削減を図ることができる。	0	0	R4

【医療介護総合確保促進法に基づく奈良県計画における令和4年度実施事業の事後評価について】

事業区分	事業名	事業概要	計画に掲げる目標	令和4年度実施状況	事業の効果	令和4年度事業費(円)	令和4年度基金充当額(円)	計画年
II 居宅等における医療の提供に関する事業	在宅医療体制整備事業	保健所、地区医師会、医療機関等が中心となり地域特性が異なる区域を対象として在宅医療モデルを構築していく事業で、在宅医療に携わる多職種で構成する協議会を設置し、在宅医療推進のための課題抽出や、多職種連携研修の開催による顔の見える関係づくりを行うとともに、人材育成や、住民に対する普及啓発を実施するなど、地域で在宅医療を推進する取組等を支援する。	保健所のノウハウを活かした広域的・専門的な市町村支援等を実施することで、在宅医療連携拠点整備を支援する。	・①管内市町村広域連携支援事業、②入退院調整ルールづくり支援事業、③多職種間連携強化支援事業、④地域連携バス推進事業の4事業を実施した。 ・急性期から在宅医療・介護までの機能分化と連携を推進するため、地域連携バスの運用を実施している。 ・保健所の助言等により、各市町村で広域的な視点も踏まえながら在宅医療・介護連携推進のための協議会の運営や、入退院調整ルールの運用が進められている。 ・専門的な知識・調整が必要とされる多職種間連携強化支援事業においては、保健所が中心となって各職能団体や市町村とも連携しながら、連携ツールの作成や勉強会、研修会を実施している。	保健所が中心となって調整を行うことで、地域の実情に応じた医療介護連携が進んでいる。	126,931	126,931	H27
	重症心身障害児等地域生活支援事業	在宅の重症心身障害児者、医療的ケア児等とその家族が、身近な地域において、心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、広域的・専門的な相談支援や各関係機関との連携・調整等を行う。	在宅の重症心身障害児者、医療的ケア児者とその家族が、身近な地域において、心身の状況に応じた適切な保健、医療、福祉その他の各関連分野の支援を受けられるよう、広域的・専門的な相談支援や各関係機関との連携・調整等を行う。	「重症心身障害児者支援センター」を運営し、広域的・専門的な相談支援や各関係機関との連携・調整等を行った。	在宅の重症心身障害児者、医療的ケア児者の支援体制の充実を図ることができる。	11,814,300	11,814,300	R4
	訪問看護推進事業	訪問看護の推進を図るため、訪問看護関係者で構成する訪問看護推進協議会を開催するとともに、訪問看護を担う人材の育成を図るための研修会を実施する。	研修参加者数 125人	研修参加者数 152人	訪問看護に必要な知識・技術の習得を図るための研修を実施し、訪問看護を担う人材の育成に資することができる。	2,554,636	2,554,636	H27
	在宅歯科医療連携室整備事業	在宅歯科医療における医科や介護等の他分野との連携を図るための窓口（在宅歯科医療連携室）を設置し、在宅歯科医療希望者に訪問医を紹介する事や、在宅歯科医療を行う歯科診療所に在宅歯科医療機器の貸出をする事により、在宅歯科医療を受ける者や家族等のニーズに応え、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図る。	訪問在宅歯科診療件数 600件 歯科診療機器の貸出件数 350件	訪問在宅歯科診療件数 511件 歯科診療機器の貸出件数 226 周知啓発活動 6回	本事業を実施することにより、在宅歯科医療を希望する方や家族等のニーズに応えるとともに、地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制の構築を図ることができる。	3,044,968	3,044,968	R1
	奈良県心身障害者歯科衛生診療所設備整備事業	効果的・効率的な治療の実施と、利用者へのサービス向上につなげるとともに、歯科医師等の心身障害者（児）への歯科診療技術の向上を図るため、心身障害者歯科衛生診療所の歯科診療機器等を整備・更新する。	心身障害者歯科衛生診療所の歯科診療機器等を整備・更新し、効果的・効率的な治療が実施できることにより、利用者へのサービス向上につながるるとともに、当診療所で歯科診療に関わる歯科医師等の心身障害者（児）への歯科診療技術を向上させることにより、在宅歯科診療及び一般歯科診療の推進と在宅歯科診療を支える体制の充実を図る。	心身障害者歯科衛生診療所の効果的・効率的な治療提供のため、歯科診療機器等の整備として、移動型デジタルX線撮影装置一式及び汎用画像診断装置一式の整備を行った。	耐用年数を経過した歯科診療機器等の整備・更新の実施により、診療体制の充実を図ることができている。	6,171,000	6,171,000	R4
	がん在宅医療情報管理事業	がん患者の罹患情報等を収集し、医療圏ごとに性別、年齢別等の分析を行い、データベースを構築する。それにより、がんの在宅医療供給量を把握し、がんの在宅医療の空白地域について在宅医療を推進していく。また、「がんネットなら」を通じて、県民へ在宅医療を含む有益ながん情報を提供する。	奈良県がん情報提供ポータルサイト「がんネットなら」ページプレビュー数 平成29年度：69,241件から増加	奈良県がん情報提供ポータルサイト「がんネットなら」ページプレビュー数：81,112件（R4年度）	より精度の高いデータを用いて、医療圏毎のがん罹患の推移や年齢別、地域別のデータを分析することで、がんの罹患数と在宅医療資源のバランスを評価することができる。	7,699,767	7,699,767	R4
	在宅医療提供体制確立促進事業	県内在宅医療の提供体制構築を円滑に図るため、関係職種等の参画による奈良県在宅医療推進会議を立ち上げるとともに、在宅医療に対応できる開業医の確保事業や在宅医療に関する県民向けの普及啓発事業等、奈良県の在宅医療提供体制の確立を促進するための取組を実施する。	・奈良県在宅医療推進会議の実施 ・小児在宅医療実態調査報告書の作成 ・在宅医間連絡会の実施 ・在宅医療入門研修等	・県医師会による在宅医療への参入促進等の取組に対し補助を行う。 ・小児在宅医療等にかかる実態把握のためのアンケート調査を実施。 ・地域包括ケア・在宅医療関係者会議の開催。	医療職能団体との連携により、全県的な情報共有の場・検討の場を確立することができる。	4,983,248	4,983,248	R4



【医療介護総合確保促進法に基づく奈良県計画における令和4年度実施事業の事後評価について】

事業区分	事業名	事業概要	計画に掲げる目標	令和4年度実施状況	事業の効果	令和4年度事業費(円)	令和4年度基金充当額(円)	計画年
IV医療従事者の確保に関する事業	産科医療体制支援事業	地域でお産を支える産科医や助産師、NICUにおいて新生児を担当する新生児医療担当医に対し、分娩手当や新生児担当医手当等を支給することにより、これら医師等の処遇改善を図る者に対し、補助金を交付する。 臨床研修終了後の専門的な研修において、産科を選択する医師に対し、研修手当等を支給することにより、将来の産科医療を担う医師の育成を図る者に対し、補助金を交付する。	・手当支給者数R4のべ6,609人（育成支援事業60人、確保支援事業5,807人、新生児科医支援事業742人） ・手当支給施設数R4のべ28施設（育成支援事業1施設、確保支援事業25施設、新生児科医支援事業2施設）	・手当支給者数R4のべ5,293人（育成支援事業28人、確保支援事業4,430人、新生児科医支援事業835人） ・手当支給施設数R4のべ24施設（育成支援事業1施設、確保支援事業21施設、新生児科医支援事業2施設）	地域でお産を支える産科医や助産師、NICUにおいて新生児を担当する医師に対し、分娩手当や新生児担当医手当等を支給することにより、これら医師等の処遇改善につなげる。	12,561,000	12,561,000	R4
	糖尿病医療専門人材育成事業	糖尿病診療における専門医と非専門医の連携及び連携に関わる人材育成を支援	糖尿病診療ネットワーク協力医療機関の認定	協力医療機関 9医療機関認定	非専門医と専門医が連携して糖尿病患者を早期から診ることで、合併症等の重症化予防等、患者の予後改善が見込まれる。	134,069	134,069	R4
	医療経営人材養成講座	地域医療構想の推進と、個々の病院の経営基盤強化の調和を図ることのできる医療経営人材を養成するための講座プログラムを開発し、地域医療構想に沿った医療経営を行うプロ人材の育成となるアドバンスコースを実施。	アドバンスコース（前期）開講（コース修了者30名） アドバンスコース（後期）開講（コース修了者30名）	アドバンスコースを2回開催し、修了者は47名	本事業により、病院経営やマネジメントに興味を持つ医療関係者（「次世代医療経営リーダー」候補者）を発掘することができ、取組に効果があった。	6,715,000	6,715,000	R4
	救急医療電話相談事業	24時間体制で医師や看護師が救急患者からの電話相談に応じ、救急医療機関の受診の可否や応急処置の方法などについてアドバイスをすることにより、不要不急の救急医療機関への受診を減少させるとともに県民の不安解消を図る。	電話相談件数（R4：16,800件）	電話相談件数（R4：38,612件）	夜間帯の相談件数のうち緊急度が低かった相談者を適切に案内することで救急医療を利用する頻度を低減させ、救急搬送数の増加を防いだ。	48,367,170	48,367,170	R4
	救急搬送・受入実施基準実施事業	奈良県救急医療管制システム（e-MATCH）から得られるデータ等をもとに、県内医療機関に対し救急受入状況についてヒアリング等を行い、救急搬送協議会及び各部会により救急医療体制の改善に向けた検討を行う。	検討会の開催 2回	検討会の開催 6回	救急現場における問題点等の整理を行い、救急医療体制の改善（搬送基準改定等）を行うことで勤務医の負担軽減を図ることができ、有効である。	900	900	R4
	小児救急医療支援事業	小児科医のバックアップのもと、専門の看護師が小児救急患者の家族等からの電話相談に対して、受診の要否や応急処置の方法などについて助言・アドバイスをを行う相談窓口（#8000）を設置する。	電話相談件数 22,000件（R4）	電話相談件数 19,827件（R4）	本事業の実施により、小児救急医療機関への不要・不急な受診を抑制し、医療従事者等の負担軽減を図ることができた。	36,015,767	36,015,767	R4
	災害急性期医療体制構築事業	災害時医療従事者の人材育成・資質向上を図るため、災害医療関係者等に対する実務的研修及び実動訓練等を実施する。	・災害医療訓練（6回） ・災害医療研修（2回）	・SCU展開訓練（6/10） ・衛星携帯電話伝達訓練（6/24,1/27） ・防災総合訓練（10/23） ・近畿地方DMATブロック訓練（11/19） ・奈良県国民保護共同図上訓練（1/27） ・広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作	災害医療関係者等に対する実務的研修及び実動訓練等を実施することで、人材育成・資質向上を図ることができる。	1,711,291	1,711,291	R4
	小児救急医療体制整備事業	小児科標榜病院による小児2次輪番体制を構築し、輪番参加病院に対して当番日の診療に必要な人件費の補助を行う。	補助対象の医療機関数 14機関（R4） 小児輪番病院患者数 6,300人（R4）	補助対象の医療機関数 14機関（R4） 小児輪番病院患者数 6,265人（R4）	本事業の実施により、県内全域で小児2次救急医療体制を確保しつつ、当番制により実施することで、医療従事者等の負担軽減を図ることができた。	52,244,550	52,244,550	R4

【医療介護総合確保促進法に基づく奈良県計画における令和4年度実施事業の事後評価について】

事業区分	事業名	事業概要	計画に掲げる目標	令和4年度実施状況	事業の効果	令和4年度事業費(円)	令和4年度基金充当額(円)	計画年
	医師確保推進事業 へき地勤務医師確保推進事業	①ドクターバンク運営事業 ドクターバンク登録医師の相談窓口を設置し、医師との面談を行い、公的医療機関へあっせんを行う。 ②地域医療マインド普及事業 医学生やその保護者に対して、医師確保イベント情報や県の医療政策、将来奈良県で勤務することを呼びかける冊子を配布するなど継続的な情報提供を行う。 ③若手医師県内就職推進事業 奈良県と各臨床研修病院が連携の協議、意見交換及び合同でプロモーション活動医学生向けの就職フェアに出展及び説明会を開催することで、県内への就職者数を増加させる。 ④専攻医県内確保・定着事業 奈良県と専門研修施設が連携・協議し、合同でプロモーション活動(医学生・臨床研修医向け就職フェアへの出展、説明会等)を実施 ⑤へき地勤務医療従事者確保推進事業 全国の医科大学生・看護学生を対象に、奈良県のへき地診療所で現場勤務を体験し、興味を深めてもらい、将来奈良県内のへき地で勤務する医療従事者の確保を図る。	説明会、研修会等の開催回数 6回 (レジナビ×2、協議会×4〔合同説明会含む〕)	説明会、研修会等の開催回数 8回 (レジナビ×2、協議会×6〔合同説明会含む〕)	・R5研修開始臨床研修医マッチング者数 98名 ・マッチング率 全国22位(76.0%)  ・R5研修開始専攻医数 116名	6,292,843	6,292,843	R4
	医師配置システムの運営	・県内の医師不足状況や、医師の適正配置、キャリアパス等の分析・研究を行う地域医療学講座の運営に対し補助を行う。 ・修学資金貸与医師等のキャリア形成支援、配置案の策定及び関連する調整業務を行う。	R4年貸与者数 86人	R4年貸与者数 85人	・新規修学資金貸与者を15名確保した。 ・新たに16名の医師が初期臨床研修を修了し、知事が指定する県内の医療機関に配置された。	31,246,857	31,246,857	R4
	地域包括ケアシステムを支える医師確保事業	総合診療専門医の養成プログラムの専攻医募集のプロモーション、専攻医・指導医に対する研修会の開催及び協議を通じて各病院の連携を推進することで、総合診療医の養成及び確保を行う。	・協議会及び研修会の開催数 3回	・協議会及び研修会の開催数 2回	総合診療領域登録数/全領域登録の割合 全国5位 (奈良県) 10人/116人(8.6%) (全国) 285人/9,325人(3.1%)	298,399	298,399	R4
	医療従事者の働き方改革推進事業	医療勤務環境改善支援センターを設置し、アドバイザーによる相談対応や研修会の開催等により、医療従事者の勤務環境の改善に係る取組を行う医療機関に対する支援を行う。	・医療機関に対する個別支援等件数 100件/年	・医療機関に対する個別支援等件数 259件/年	・厚生労働省の実態調査回収率:90% ・医療機関の勤務環境改善に関する相談支援等を積極的に申し出ることで、R6年度から適用される医師の時間外労働の上限規制を遵守できる体制整備に向けた取組を推進することができた。	2,079,000	2,079,000	R4
	看護師等養成所運営費補助事業	看護師等養成所の運営を支援するため、専任教員の配置や実習経費等の費用に対する補助を行う。	事業実施施設数6校7課程/年	事業実施施設数6校7課程/年	補助金交付により看護教育の充実を図ることで、医療現場の多様化・患者の複雑化・医療技術の進歩への対応力を持つ、質の高い看護職員を養成することができている。	851,042,099	93,138,000	R4
	病院内保育所運営費補助事業	医療機関が職員のために運営する病院内保育所の運営経費に対する補助を行う。	事業実施病院数 18病院/年	事業実施病院数 17病院/年	子どもを持つ医療従事者の離職防止や復職支援を目的とした院内保育所の運営費を補助することで、継続勤務が可能な環境を維持することができている。	86,017,550	57,118,000	R4
	看護職員資質向上推進事業	看護職員の資質向上を推進するため、実習指導者講習会及び看護教員継続研修を実施する。また、在宅医療関連分野の認定看護師教育課程等や奈良県立医科大学が実施する特定行為研修の受講経費を助成する病院等に対する補助を行う。	研修参加者数 190人/年	研修参加者数 169人/年	実習指導者や看護教員等に対する研修や、認定看護師の資格取得支援により、質の高い看護職員の育成に資することができた。	21,103,633	9,941,000	R4
	ナースセンター機能強化事業	ナースセンターの運営体制を強化し、看護師等免許保持者の届出制度を活用した復職支援やサテライト相談の実施、ハローワークとの連携等により看護職員の就業を促進する。	サテライト相談実施回数 70回/年	サテライト相談実施回数 87回/年	身近な地域でのサテライト相談、ハローワークとの連携等の支援により、看護職員の就業・定着や復職に資することができた。	8,727,220	8,727,220	R4
	新人看護職員卒後研修事業	新人看護職員に対しガイドラインに沿った臨床研修を行う病院に対し、研修の実施に要する経費を補助する。また、各病院で行う研修を補完するため、多施設合同による集合研修を行うとともに、適切な研修実施体制の確保を図るため、研修責任者・教育担当者及び実地指導者に対する研修を実施する。	事業実施病院数 22病院/年	事業実施病院数 20病院/年	各病院で行う新人看護職員に対する臨床研修を支援することにより、ガイドラインに沿った研修の推進に資することができた。	32,051,939	10,377,000	R4
	看護職員確保対策会議運営事業	将来にわたる安定した質の高い看護の提供に向けた看護師確保策等を検討するため、関係機関による会議を開催する。また、看護師が働きやすい環境を整えるため、職場環境等の実態を調査し、勤務環境改善の先駆的な事例を収集する。	考案される解決策の数:2 既存事業の改善の数:1	考案される解決策の数:0 既存事業の改善の数:0	看護師がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会を設置し、会議を2回開催。今後の会議で議論する実効策検討の基礎資料を得るため、奈良県で就業または在任している看護職員に対するアンケート調査を実施。943名から回答を得る。	1,151,785	1,151,785	R4



**【医療介護総合確保促進法に基づく奈良県計画における令和4年度実施事業の事後評価について】**

事業区分	事業名	事業概要	計画に掲げる目標	令和4年度実施状況	事業の効果	令和4年度事業費(円)	令和4年度基金充当額(円)	計画年	
	医師確保修学資金貸付金	医師の確保が困難なへき地等の医療機関や医師の確保が困難な特定の診療科等（小児科、産科、麻酔科、救急科、外科、脳外科、総合診療を実施する科及び救命救急センター）、特定専攻課程（総合内科分野、児童精神分野）に勤務する医師の養成及び確保を図るため、資金を貸与。	修学資金の累計貸与者数 86名	修学資金の累計貸与者数 85名	新規修学資金貸与者を15名確保した。	214,389,240	148,989,240	R4	
	医師患者関係講座運営事業	奈良県立医科大学において、「医師・患者関係学講座」を設置し、高度医療・急性期医療・慢性疾患における医師・患者関係を理解するための教育を実施	1年間で24コマ開催	1年間で29コマ開催	慢性疾患をはじめとした医師・患者関係を理解するための教育を実施し、医師と患者間のコミュニケーション能力の高い医学生を養成。	20,990,000	15,742,000	R4	
	医師配置適正化推進事業	奈良県の医療費及び医師数を全国と比較し、地域差について分析し、奈良県の医療に対する医師偏在の影響についての分析を実施	医師配置システムによる配置医師数（県費奨学生） R3：62人	医師配置システムによる配置医師数（県費奨学生） R4：78人	奈良県の医療費および医師数とそれに関連する様々な指標等を用いて医師偏在の影響をはかるための分析を実施。適正な医師配置（医療の均てん化）に向けた基礎資料を得た。	4,900,000	4,900,000	R4	
	糖尿病歯周病医科歯科連携推進事業	医療関係職種を対象とした糖尿病と歯周病の関係の周知を目的とした講習会を開催する。糖尿病歯周病医科歯科連携を推進する意義について啓発するための媒体を作成し配付する。	講習会開催 1回/年 糖尿病歯周病医科歯科連携啓発ポスター作成数 1,000部	講習会1回開催、参加者数67人 糖尿病歯周病医科歯科連携啓発ポスター受領機関 728機関	講習会の実施により、糖尿病歯周病医科歯科連携の必要性を理解する県内医療関係者を増やすことができた。また、啓発ポスターの配付により県内医療機関に広く周知することができた。	475,855	475,855	R4	
VI勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業	地域医療勤務環境改善体制整備事業	年間の時間外労働時間が960時間を超える医師がいる医療機関（診療報酬による対応を受けている医療機関を除く）が労働時間短縮に向けた取組に対しての支援	1病院への補助	1病院への補助	医療機関における医療専門職支援人材、非常勤医師の採用等により、医師の年間の時間外労働時間の削減につながった。	14,829,000	14,829,000	R4	
合計								683,338,632	
R4年度分取崩額								683,338,632	